

令和5年度岩手県流域下水道事業会計決算概要

岩手県県土整備部

【要旨】

- 本県の流域下水道事業は、令和2年4月1日から地方公営企業法の財務規定等を適用し、公営企業会計へ移行。
- 経常収益は、長期前受金戻入の減などにより、前年度比3.8%減の87億8千3百万円余となり、経常費用は、減価償却費の減などにより前年度比2.0%減の87億1千4百万円余となった。
- この結果、経常利益、純利益は、前年度比71.6%減の6千8百万円余となり、年度目標を達成した。

1 令和5年度損益

(単位：千円) 税抜

科目	年度	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	比較	
				増減額 (A-B)	増減率 (A-B) / B
経常収益		8,783,205	9,130,242	△ 347,037	△ 3.8%
経常費用		8,714,675	8,888,931	△ 174,256	△ 2.0%
経常利益		68,530	241,311	△ 172,781	△ 71.6%
特別利益		0	0	0	—
特別損失		0	0	0	—
純利益		68,530	241,311	△ 172,781	△ 71.6%

2 経常収益の状況

減価償却費の減少に伴う長期前受金戻入の減 (△276,779 千円) などにより、前年度比347,037 千円 (△3.8%) 減の8,783,205 千円となった。

3 経常費用の状況

資産の減価償却が進んだことによる帳簿価額の減に伴う、減価償却費の減 (△246,997 千円) などにより、前年度比174,256 千円 (△2.0%) 減の8,714,675 千円となった。

4 経常利益、純利益の状況

以上の結果、経常利益、純利益は、前年度比172,781 千円 (△71.6%) 減の68,530 千円となった。

なお、経常利益の年度目標値 (R5) に対する実績は次のとおりとなった。

区分	年度目標 (R5)	実績	増減	備考
経常収支比率	100.0%	100.8%	0.8ポイント	年度目標を達成

5 汚水処理状況

令和4年度と比較し、流入汚水量は0.2%の増となり、7,120 万m³を処理した。負担金収入は、0.2%減の、4,180,156 千円となったが、令和4年度から関連市町の負担方法を総括原価方式へ変更しており、実績処理水量による負担金収入の差額が生じない、安定的な収入が得られるようになっている。

区分	年度	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	比較		処理区域
				増減量 (A-B)	増減率 (A-B) / B	
流入汚水量 (千m ³ /年)		71,202	71,079	123	0.2%	
北上川上流域 (千m ³ /年)		67,675	67,523	152	0.2%	盛岡市、滝沢市、雫石町、 矢巾町、花巻市、北上市、 奥州市及び金ケ崎町
磐井川流域 (千m ³ /年)		3,527	3,556	△29	△0.8%	一関市及び平泉町
市町負担金収入 (千円)		4,180,156	4,189,308	△9,152	△0.2%	